

会計システム開発のR&AC

「オール・アンド・エー・シー(R&AC、東京・千代田)は会計関連の業務システムを開発・販売する。インターネット通販の決済データ照合システムなど、会計の基幹システムの隙間を埋めるニッチな製品を手掛ける。地味な製品だが経理部門の負担を軽減する点を受けて受注は好調だ。高山知泰社長(43)は「ニッチなシステムを開発し、潜在需要を開拓する」と話す。

今年4月に発売した「スマート・ワン」はインターネット通販の注文がすべて正しく決済されたかを自動で照合するクラウドシステムだ。通販会社の受注管理データと、通販サイトでの決済情報を1件ずつ突き合わせて調べる。1

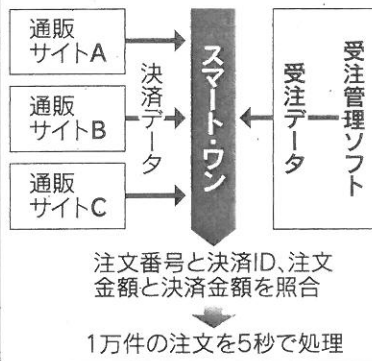


高山社長

決済データ自動照合

《会社概要》
 ▽創業 2004年11月
 ▽本社 東京都千代田区
 ▽資本金 3700万円

通販の注文が決済されたか自動で確認



万件の注文を5秒で処理する。初期費用は不要。月額9千円の利用料金を支払う。カード決済の普及で代金回収のリスクは減った。新システムの狙いは会計監査業務の効率化だ。監査では一つ一つの注文と決済状況を照合する必要があり、特に上場企業や上場予備軍の企業は管理体制を厳しく問われる。高山社長は「神経を使う煩雑な作業だが、エクセルの表を使って手作業で確認する例が多いため、このほかに未回収の債権がない」と話す。スマート・ワンは「20年に向けてがんばろう」。高山社長は最近、株式の上場を意識して社員にこう呼びかけている。足元のシステム受注は好調。15年9月期の売上高は14年9月期に比べ3割増の3億円弱の見通しだ。目下の悩みはシステムを開発するエンジニアの人手不足。「仕事はあるけど人がいない」と嘆く。上場が実現すれば人材確保にもプラスに働

「20年に向けてがんばろう」。高山社長は最近、株式の上場を意識して社員にこう呼びかけている。足元のシステム受注は好調。15年9月期の売上高は14年9月期に比べ3割増の3億円弱の見通しだ。目下の悩みはシステムを開発するエンジニアの人手不足。「仕事はあるけど人がいない」と嘆く。上場が実現すれば人材確保にもプラスに働

品を販売。高山社長は「ニッチな分野ばかりで他社とは競合しない」という。かゆい所に手の届くシステム開発は高山社長の経験によるものかもしれない。高山社長は会計事務所を経てシステム会社で大手企業の会計システムの構築に従事した。2004年に独立し、R&ACを設立した。主力の入金管理システムはTOTOや日本航空など大手企業100社以上が採用している。

「20年に向けてがんばろう」。高山社長は最近、株式の上場を意識して社員にこう呼びかけている。足元のシステム受注は好調。15年9月期の売上高は14年9月期に比べ3割増の3億円弱の見通しだ。目下の悩みはシステムを開発するエンジニアの人手不足。「仕事はあるけど人がいない」と嘆く。上場が実現すれば人材確保にもプラスに働

(伊藤大輔)